

# てつほく通信

第51号 平成30年(2018年)10月発行  
手稲鉄北まちづくりセンター  
手稲区曙7条3丁目6-22  
TEL 684-0048 FAX 684-0657



このてつほく通信は、札幌市ホームページ「手稲区・手稲鉄北まちづくりセンター」からもご覧いただけます。



## 北海道マラソン 2018

給水ボランティアに協力しました

▲去る8月26日(日曜日)、「北海道マラソン 2018」が開催され、約1万9千人のランナーが駆けぬけました。新川通沿いに設営された25キロメートル地点の給水所では、手稲鉄北地区の住民202人が立ち並び、ランナーに熱い声援を送りました。(次ページに続く)

各地域で  
夏まつり開催!

▼この夏も、各地域で夏まつりが開催されました(写真)。左から「山口団地連合自治会夏まつり(7/15)」「あけぼの夏まつり(7/21)」「稲山連合町内会盆踊り大会(8/18~19)」。

山口団地連合自治会夏まつり

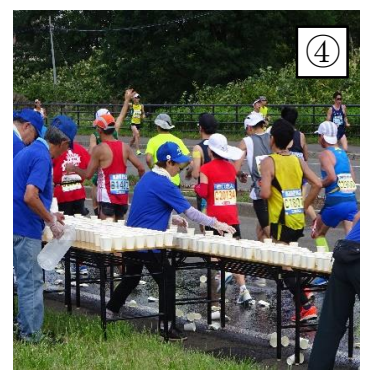


あけぼの夏まつり



# 今年も熱かった鉄北のボランティアたち

北海道マラソン 2018



北海道マラソンの給水ボランティアの応募は町内会を通じて行われ、当日参加した手稲鉄北地区のボランティアは 202 人。今年も好天に恵まれ、ランナーたちに熱い声援を送っていました。<写真> ①大量に用意された水を各グループに運びます、②交通規制開始と同時にテーブルが並べられます、③招待選手がスペシャルドリンクを補給していきます、④続々とランナーたちが現れ水分を補給します、⑤後方で水をくむ係も忙しくなり、⑥水を追加して割っていきます、⑦レースも終盤になると水も底をつきはじめます、⑧最後尾の車両が通過すると道路上の清掃作業を行います、⑨河川管理用道路の清掃も行っています。



# まちづくり協議会主催の講座も本格化



## ← 園芸講習会 (9/6)

樹医で庭園管理士の加藤清春さんを講師に招き、収穫の終わった畑を今のうちから来年に向けて準備し、良い畑を作るための具体的な説明や、木の剪定及び伐採の時期、殺虫剤の種類など、ポイントを押さえた説明がありました。講師の加藤さんは手稲鉄北地区に在住で、園芸や植物に関するFAXでの相談も随時受け付けています。  
(FAX 専用番号 682-2560)

## セラピードッグとのふれあい体験 (9/17) →

明日風公園において、動物療法の一つとして活躍するセラピードッグとの体験コーナーが設けられ、犬とのふれあいを楽しみました。



## ↑ 防災講習会 (9/28) →

手稲警察署の署員を講師に招き、「地震や津波で死なないために」をテーマに防災対策が紹介され、その後、被災地において負傷者を運び出すための具体的な方法について実演がされました。



負傷者を運び出だすための方法についての実演。



会場では、札幌市防災協会の方が、防災用品を展示。

# 「ていぬペタンク」の行事も続々と

「ていぬペタンク」は、陸のカーリングとも呼ばれるフランス生まれの球技「ペタンク」を、アレンジして、小さなお子さんからお年寄りまでが気軽に楽しめるよう、手稲鉄北地区の住民たちが平成 22 年に考案したものです。参加された皆さんは、ゲームに使う玉となる「ぐんていぬ」も軍手を使って自分で作り、それを使ってゲームを楽しみました。



平成30年9月28日に防災講習会が開催され、手稲警察署の方から情報提供がありました。義援金詐欺が、手稲区でも発生しているのでご注意ください。

# 義援金詐欺にご注意！

## 相手の確認はしっかりと！

- ◆公的な機関・団体は、電話や訪問はしない。
- ◆振込先（口座番号、名義）は、テレビ・新聞・ラジオ等で確認。

少しでも不審と思ったら・・・  
警察相談電話 **#9110**に相談！

## 過去の震災時に見られた主な事例

息子だと名乗る

「職場で集めた義援金をなくしたのでお金を準備してほしい。」と現金を求めた。

公的機関と紛らわしい機関名をかたる

「被災地確保のため寄付してください。」等と言って振り込ませようとした。

実在する団体名をかたる

「災害支援基金への寄付をお願いします。」というファックスを送付し、実在団体とは別の個人名の口座に振り込ませようとした。

**まず冷静に！  
一度電話を切る**

被災者を装いネットに

掲示板に「交通費を支援してほしい。」等と書き込み、支援金を求めた。



十分に気を付けてくださいね！

「仮設住宅に入っている人を老人ホームに入れたいので名義を貸してほしい。」と言い承諾を得た上、後日、「名義貸しは犯罪」と言って解決金を求めた。